

住宅市街地総合整備事業

既成市街地において、快適な居住環境の創出、都市機能の更新、美しい市街地景観の形成、密集市街地の整備改善等を図るため、住宅等の整備、公共施設の整備等を総合的に行う事業である。

平成19年度から令和3年度までに、豊見城団地地区（沖縄県・豊見城市）、安慶名地区（うるま市）、安慶田地区（沖縄市）の整備が完了し、現在、宇栄原地区（那覇市）、大名地区（那覇市、中央区地区（嘉手納町）で地区整備を行っている。

住宅市街地総合整備事業実績

地区名	重点整備地区	事業主体	事業計画年度	整備地区面積(ha)	対象事業	住宅建設戸数(戸)								
						H19～H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
安慶名地区	密集住宅市街地整備型	うるま市	H19	16.24	住宅地区改良	-	-	-	-	-	-	-	-	0
豊見城団地地区	拠点開発型	沖縄県豊見城市	H19～H24	21.73	住宅地区改良 公営住宅整備	342	-	-	-	-	-	-	-	342
宇栄原地区	拠点開発型	那覇市	H20～H26※	14.3	公営住宅整備	529	-	-	-	-	-	-	-	529
大名団地地区	拠点開発型	那覇市	H23～H26※	6.9	公営住宅整備	181	-	-	-	-	-	-	-	181
安慶田地区	拠点開発型	沖縄市	H23～H30	10	公営住宅整備	116	-	82	-	-	-	-	-	198
中央区地区	密集住宅市街地整備型	嘉手納町	H29～R8	18.5	都市再生住宅整備	-	-	-	-	-	-	18	-	18
合計				87.67		1168	0	82	0	0	0	18	0	1268

※宇栄原地区・大名団地地区については、平成27年度より地域居住機能再生推進事業に移行